

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(令和3～5年度)を策定

本計画は、高梁市総合計画に掲げた「心のつながりを大切に支え合い助け合う健康のまち」の基本方針に沿って、「健康寿命の延伸」、「地域共生社会の実現」、「在宅医療と介護連携の推進」、「介護保険事業の安定的な運営」を進め、介護保険制度の持続可能性を維持しながら、高齢者などが可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができることを目標としています。

そして、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援を包括的に支援する体制を目指して策定しました。

介護医療連携課 ☎ 21・0299

2040年を見据えた計画

本市の高齢化率は40%を超え、高齢化と人口減少は著しく、国や県平均を大きく上回る速度で進行しています。高齢者人口は減少傾向ですが、75歳以上の人口はしばらく増加する見込みです。そのため、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみの世帯、認知症を有する高齢者の増加が予想されます。

第8期介護保険事業計画は、介護保険法の基本的理念を踏まえ、介護給付などの対象サービスを提供する体制の確保と地域支援事業の実施を図るため、地域包括ケア計画としても位置付けています。

市は、これまでの計画を通して、地域住民が参加し、地域で支え合う共生社会を目指し、地域包括ケアシステムを構築してきたところで、本計画では、

第7期の達成状況の検証を踏まえた上で、令和7(2025)年までに地域包括ケアシステムを段階的に構築するとともに、令和22(2040)年を見据えた持続可能なサービス提供体制を整備することとしています。



地域包括ケアシステムの推進

重点目標

- ①健康寿命の延伸(介護予防)
- ②地域共生社会の実現(生活支援・住まい)
- ③在宅医療と介護連携の推進(医療)
- ④介護保険事業の安定的な運営(介護)

この目標を実現するため、さまざまな高齢者保健福祉事業・介護保険事業を推進するとともに、高齢者を地域全体で支える体制づくりを推進していきます。

※計画は市ウェブサイトに掲載しています。



市の人口・高齢化率の推移と推計

